

水木しげる氏

表紙絵

＝みんなで妖怪図書館へ行こうや＝

表紙絵：水木しげる

- | | | |
|----------------------|-------|-----|
| ・ 特集 図書館の本が棚にならぶまで | | 2～4 |
| ・ 中学生職場体験 | | 5 |
| ・ レファレンスサービスをご活用ください | | 6 |
| ・ あんな情報こんな情報 | | 7 |
| ・ 地域ゆかりの歴史・文化・伝統 | | 8 |

※音声版をご希望の方は図書館へご連絡ください。

図書館の本が棚にならぶまで

～図書館の裏側～

現在、日本では毎年約8万3千点（出版年鑑2014年から）の本が出版されています。これは30年前の約3倍もの数になります。この中から図書館の本はどのように選ばれ、皆さんのお手元に届くのでしょうか。本が棚に並ぶまでをご紹介します。

本をえらぶ（選書）

図書館には、ほぼ毎日新しく出版された本の一部とリストが書籍取次会社から送られてきます。それを参考に、中央図書館の職員は人文、社会、自然、文学、児童などの分野に分かれ、本を選ぶ選定会議を週1回開いています。そして利用動向や利用者からのリクエストをふまえ、調布市立図書館の収集方針（図書館のホームページでご覧いただけます）に照らしながら本を選んでいきます。

もっとも利用の多い文学分野は、全館で何冊所蔵するかという観点から、分館の職員も交え選定を行っています。

分館では各館の担当者が、各地域の利用状況や中央図書館の選定を基に、本を選んでいきます。



－選定会議の様子－

～人文、社会、自然、文学以外の分野紹介～

地域資料

調布市立図書館では、調布市をはじめ東京都や多摩地域についての資料を収集しています。発行元からの寄贈など多くの皆様のご協力があり、書店では見ることのできない資料を含め全館で約6万7千点を所蔵しています。

児童書

子どもたちが心に残る本と出会ってほしいという願いをこめて、本を選んでいきます。職員が1冊1冊に目を通して、購入するかどうかを検討したうえで、すすめたい本を購入しています。

映画資料

調布市には日活撮影所、角川大映スタジオをはじめ、映画・映像関連企業が数多く立地していることから、多くの映画関連資料を収集しています。資料の中には図書や雑誌だけでなく、映画関係者などから寄贈していただいた撮影台本、シナリオ及びポスターなどの貴重な資料の他、職員等が収集したパンフレットやチラシが含まれます。台本は中央図書館映画資料室内で閲覧できます。また、ポスターはデジタル化したデータを中央図書館5階参考資料室内専用端末でご覧いただけます。

ハンディキャップサービス資料

通常の印刷物による読書が困難な方へのサービスとして、音訳資料（音声[※]DAISY、カセットテープ、マルチメディア DAISY 等）、点訳資料、布の絵本などの収集・提供を行っています。これらの資料は販売されているものが少ないため、リクエストや地域資料を中心に製作も行います。また、どなたでも利用できる大活字本は、できるだけ購入し、中央図書館4階と分館の専用コーナーで手に取っていただけるようにしています。

※DAISY 図書とは国際標準規格 DAISY (Digital Accessible Information System) で作成したデジタル版の録音図書の事です。



布の絵本

点訳図書

音訳図書再生機

音訳図書

注文する

1週間分の本の選定が終わると、リストをもとにどの本をどの館が購入するか集計します。集計後はコンピュータで注文する本の情報に登録します。登録した情報の確認や修正作業をしたあと、注文の最終処理をします。通常は書籍取次会社に注文しますが、取扱いのない本は、販売元に直接申し込んで購入します。

納品・検品

注文した本は、調布市内の書店組合を通して納品されます。納品された本が注文したものに間違いがないか、本に傷や汚れがないかなど、1冊ずつ検品します。



－検品前の本－

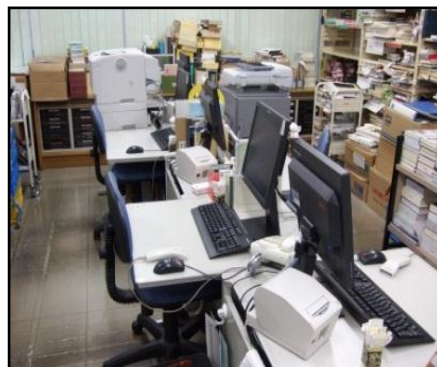
本の受入れ

コンピュータで本のデータを確認し、請求記号（本を内容によって分類するための数字や記号）や、どこの棚に並べるかなどを決めます。データに不備があると、館内蔵書検索

用パソコン（ぴゅー太）や図書館のホームページで正しく表示されないため、担当者がデータを整備します。

受入れの担当者はデータの最終チェックをしながら、バーコードの数字、請求記号、棚の場所を表すコードなどをコンピュータに登録していきます。

平成26年度は全館で購入したものや寄贈の本などを含め、合計で約5万3千冊を受け入れました。



－受入れを行う作業室－

本の装備

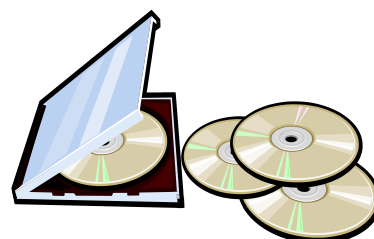
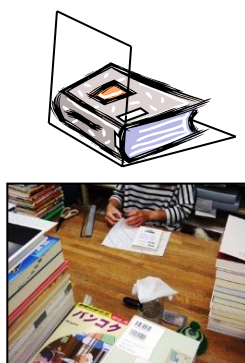
受入れが終わった本は、バーコードや背ラベルの貼付など、本の管理に必要な装備を行います。装備作業の大部分は専門の業者に依頼しますが、付属資料がついているものなど、特殊なものは図書館で行います。また、予約がある本は皆さんに早く届くよう急いで装備します。

①請求記号を
ラベルに印字し
本の背に貼る

②本をフィルム
コーティング
する

③付属CDなどを
丈夫なケースに
入れ替えラベル
などを貼る

＜ラベルの一例＞



本を棚にならべる（配架）

業者による装備の終わったものは納品されると、きちんとフィルムコーティングがされているか、背ラベルの印字に間違いがないかなどを確認します。そのあと、コンピュータで納品処理をし、中央図書館の4階・5階・地下書庫、分館などに仕分けし、棚に請求記号順にならべます。（この作業を配架と呼びます）

新刊本のお知らせ（周知）

新たに購入した本は、中央図書館では4階5階の新刊本コーナーに配架されます。また、受け入れた本の中から特におすすめしたい本を選び、新着図書案内として紹介しています。

中学生職場体験

職場体験を行う市内の中学生を中央図書館と分館で受け入れています。

中央図書館では6月30日から7月3日までの4日間、調布中学校の2年生4人が職場体験を行いました。中学生には、予約の本を本棚から探す作業や、4階子ども室の展示準備、保育園のおはなし会などを体験してもらいました。

体験終了後、中学生にアンケートを行いました。

中学生へのアンケート

Q. 好きな本もしくは最近読んだ本はありますか？

A. ハリーポッターシリーズ、ミステリー・サスペンス系

『謎解きはディナーのあとで』（東川篤哉著 小学館）、

『ソードアート・オンライン』

（川原礫著 アスキー・メディアワークス）など

Q. 一番思い出に残った仕事内容はなんですか？

A. 地下書庫での作業（特に予約がある本を探す作業）

Q. 図書館で体験したことをクラスメートにどう伝えたいですか？

A. 自分が思い描いていた図書館の仕事のイメージと違っていた。座ってする仕事だけでなく、力仕事もあって大変なんだよと伝えたい。また、図書館の利用方法や仕事のことをみんなに伝えて、図書館に興味を持ってもらいたい。

Q. 感想をお願いします。

A. 図書館の地下書庫はどうなっているのか気になっていたため、今回の体験で入ることができ、うれしかった。図書館の仕事は、カウンター以外にも地下書庫や展示など様々なものがあるということがわかった。これからも図書館を利用していきたい。



中学生は慣れない作業をする中で大変なこともあったと思いますが、最後まで一生懸命取り組んでくれました。特に、おはなし会は本番の前から熱心に読む練習をしてくれ、当日は子どもたちも、中学生のお兄さん・お姉さんに絵本を読んでもらい喜んでいる様子でした。

後日、図書館に中学生たちから手紙が届き、職場体験でチームとして仕事をする事の大切さを学んだと報告がありました。

【職場体験中のおはなし会で中学生が読んでくれた本】

『きょだいなきょだいな』長谷川摂子作 降矢なな絵 福音館書店

『やさいのおなか』きうちかつさく・え 福音館書店

『はねはねはねちゃん』なかがわりえこぶん やまわきゆりこえ 福音館書店

『てんてんてん』わかやましずこさく 福音館書店





レファレンスサービスをご活用ください



レファレンスサービスを利用したことはありますか？図書館では、調査・研究に必要な資料を紹介したり、日常生活での身近な事柄や調べものについて、資料に基づいた回答をしています。図書館で必ず実施しているサービスです。

レファレンス質問の事例から、いくつかご紹介すると…。

- ・「介護保険法の改正に伴って、今年の8月から利用者の負担増があると聞いたけれど、法改正の内容を知りたい。」
- ・「働きたいのに家族の介護で働けない。様々な事情で生活に困窮している人を助ける支援制度が今年の4月から始まったって聞いたのだけれど。」
- ・「両親が最近同じものをいつも買ってきてしまったり…。認知症に関する本や家族はどうしたらよいかを書いてある本はありますか？相談の窓口も教えてほしい。」
- ・「HbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）が高めと言われたけれど…。糖尿病にならないよう、どういう生活をしたらよいかわかる本がありますか？」
- ・「きゅうりと間違っってズッキーニを買ってしまった。レシピ本とか何かあるかしら？」
- ・「調布市立図書館のホームページの「まちの資料情報館」の中にある「調布の戦争遺跡」を見て、子どもたちに高射砲とはどんなものであったかを伝えたいので、写真の資料はありますか。」
- ・「商店街でゆるキャラを作りたい。素材や構造、作る際の注意も知りたい。」

などなど、多岐に渡る質問をいただいています。

●レファレンス回答事例

調布市立図書館では、いただいたレファレンス質問の中で、解決した事例の中から、地域や映画に関する質問や繰り返し行われる質問などを中心にして、レファレンス回答事例集を図書館ホームページに掲載、検索できるようにしています。

<http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/reference/refsearch.html>



回答の原則は、図書館員の見解を述べるものではなく、信頼できる情報源に基づきます。そのために図書館は、利用者の情報ニーズにこたえられるよう事典など、信頼できるレファレンス情報源を揃え、使いやすいように整理して、情報を探しやすい環境を整備しています。

また、利用者の情報ニーズを予測して、資料探しの手引きを用意しておくことにより、利用者の探索を支援するものもあります。それがパスファインダーです。

パスファインダーは、そのことばのとおり「道しるべ」です。特定のテーマやトピックスに関する資料・情報を、利用者が効率よく入手できるようにしたもので、調べ方の手順もまとめたものです。法令情報や新聞記事、雑誌・雑誌記事、地図の探し方を用意しています。

<http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/reference/pathfinder.html>



調布市立図書館ホームページからご覧いただけます。また、図書館で配布しています。





あんな情報こんな情報



★市制施行60周年記念展示★



「祝！調布市制施行60周年

調布発見 本の中の“調布”を見つけよう」と題して、調布や、調布に関する人・もの・ことが載っている本を展示しました。本の題名に「調布」という言葉が含まれない本を集めたので、調布というキーワードで探ただけは出会えない、さまざまな本をご紹介しますことができました。

利用者の方から、「どうやって探したのですか？」とか、「おもしろい企画ですね」といった声をいただきました。どのような本を展示したかは、

図書館のホームページでご覧いただけます。是非「本の中の調布」を探してみてください。

「こんなところに我がまち調布が描かれている」と、一味ちがう読書の楽しみ方ができます。

※ホームページ掲載場所＞トップ＞図書館案内カレンダー＞中央図書館＞展示＞4月28日掲載分 (http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/main/info/tenji2015_04.html)

★分館工事休館のお知らせ★

国領分館、神代分館、宮の下分館の3館は、電気設備等工事のため、以下の期間は休館します。

休館期間：平成27年11月2日（月）から平成28年1月4日（月）まで

平成27年11月1日（日）の午後5時から平成28年1月5日（火）の午前9時まで、ブックポストも使えません。

休館する3館をご利用の方は、休館中、予約資料を市内のほかの図書館で受け取ることができます。各図書館のカウンターにある「予約資料の受取館変更用紙」にご記入いただくか、お電話でご連絡ください。また、図書館ホームページや資料探索用パソコン「ぴゅー太」から予約した資料は、〈予約状況〉が「予約中です」と表示されているものは、ご自身で受取館を変更することができます。

調布市の町名地番の整理

井上明枝

昭和30年に市制がスタートした調布市ですが、町名は従前どおり大字名のままでした。地元の人には歴史的な由来があり愛着が強かったことでしょう。しかし戦後の発展期だった30年代は急激な人口増があり、道路や町割りなど都市造りへの整理事業が全国的な課題でした。

調布市は国の「住居表示に関する法律」の公布（昭和37年5月）に先立つ昭和35年に町名地番整理の協議会を発足させ翌年、仙川1～3丁目と緑ヶ丘1～2丁目改正からスタートしました。「市の整理事業が国に先行したのは、全国的にみても一、二位を争うほどに町割りが入り組み、飛地が多く散在し、加えて急激に移住民の数が増え、矛盾の激化は国の施策を待っていらなかったのである」と市史（下巻）は述べています。

私が都心から調布に移り住んだのは昭和45年10月です。建設中だったマンションの下見をしようと小学生の息子と初めて京王線に乗り、古い調布駅に降りました。地下通路から南口広場に出ると噴水があり、品川道に通じる道には個人商店がチラホラ、東急ストアは建設中でした。品川道を数分歩き京王線の線路ぎわが建設現場でした。工事の人にきくと「駅には近いし、市役所は目の前だ。電車の走る騒音は気になるかもしれないが住むのが6階なら眺めはバッチリ。多摩の横山の上に富士山がくっきりと姿を見せてくれるよ」と太鼓判。富士見台小学校が近いこともわかり、都心に勤める夫は報告を聞いただけでOKでした。当時の住所は「下布田町」。現在の「小島町」になったのは昭和50年11月でした。

調布市の町名地番改正は約25年間に及びましたが、昭和60年9月に八雲台1～2丁目と佐須1～5丁目の改正で終了しました。町割がすっかりして飛び地が解消し、郵便や宅配も迷わず都市生活に欠せぬ事業でした。緑ヶ丘、若葉町、富士見町など**右上の表「町名地番改正年月日」**の新町名が誕生しました。その一方で昔の親しまれた名前は消えました。その一部は、市の無形民俗文化

町名地番改正年月日

新町名	改正年月日
緑ヶ丘1～2丁目・仙川町1～3丁目	昭和 36.11.1
若葉町1～3丁目・入間町1～3丁目	昭和 37. 5.1
富士見町1～4丁目	昭和 40.11.1
国領町1～8丁目	昭和 41. 3.1
染地1～3丁目	昭和 41. 7.1
上石原1～3丁目	昭和 42. 3.1
飛田給1～3丁目	昭和 42. 6.1
東つつじヶ丘1～3丁目	昭和 43. 5.1
西つつじヶ丘1～4丁目	昭和 43. 7.1
菊野台1～3丁目	昭和 44. 3.1
柴崎1～2丁目・野水1～2丁目・西町	昭和 45. 3.1
布田1～6丁目	昭和 46. 6.1
調布ヶ丘1～4丁目	昭和 47. 3.1
小島町1～3丁目	昭和 50.11.1
下石原1～3丁目	昭和 51. 9.1
多摩川1～7丁目	昭和 52.10.1
深大寺元町1～5丁目・深大寺北町1～7丁目・ 深大寺東町1～8丁目・深大寺南町1～5丁目	昭和 59.11.1
八雲台1～2丁目・佐須町1～5丁目	昭和 60. 9.1

財「祭ばやし」のはやし連の名にしのおことができます。主な消滅地名を紹介します。

〈北野町〉明治22年に北野村（現三鷹市）の飛地が神代村に編入。市制で北野町。改正で仙川、若葉町、東・西つつじヶ丘に編入された。

〈大町〉神代村の大字に編入、市制で大町に、改正で入間、国領町、西つつじヶ丘、菊野台へ。

〈上ヶ給〉近世の上ヶ給村が調布町の大字となり改正で染地、布田、小島町へ。

〈上布田町〉近世布田五宿の一つ。上布田町から布田、染地、調布ヶ丘、小島町、多摩川へ。

〈下布田町〉同上で八雲台と国領町が加わる。

〈金子町〉神代村大字金子から金子町。改正で国領町、西つつじヶ丘、菊野台、佐須町へ。

刊行物番号

2015-128

図書館だより 第237号

平成27年9月25日発行 [市内印刷]

発行 調布市立図書館

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

TEL 042-441-6181

<http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/>